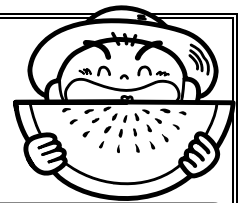


# 六つの華だより

糸魚川市立磯部小学校  
平成 25 年 7 月 10 日(水)No. 7  
E-mail isobesho@itoigawa.ne.jp  
URL <http://www.itoigawa.ed.jp/isobesho/>



自分の言葉で伝えよう みんな笑顔になろう 元気な体をつくろう

## “ダメだし”と“ヨイだし”

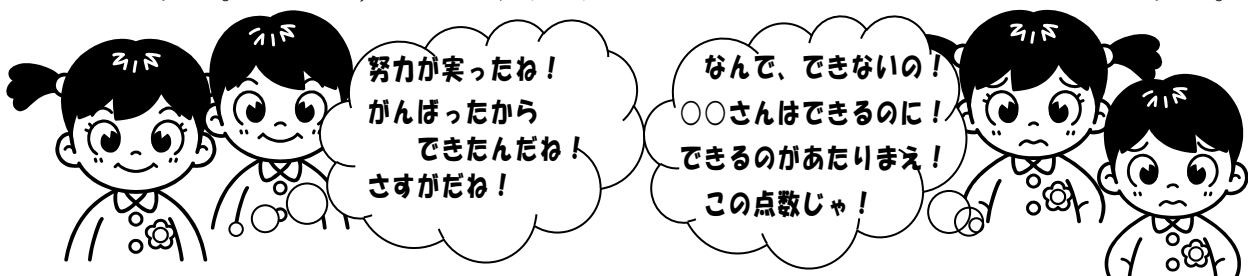
校長 高橋 雅史

よくテレビなどで“ダメだし”という言葉を目にすることがあります。出演者の演技や歌，コントなどについて、「今のはだめ，もう一回やり直し」や「全然だめ，番組では採用しない」という意味で使われることが多いようです。

カウンセラー養成の仕事をしている岩井俊憲さんは，“ダメだし”の正反対のやり方として“ヨイだし”を提唱しています。それは，相手の実際の行為や成果を認め，承認することです。具体的にどんな点がどうよかったか，そして自分がそれをどう感じたかを伝える事になります。

例えば，漠然と「持久走大会がんばったね。」とほめるのではなく，「持久走大会の最後のスパートが素晴らしかったね。これまでの練習の成果が出たんだね。歯をくいしばって走る姿に本当に感動したよ。」と伝えるのが，“ヨイだし”です。「せっかく応援に来たんだから，もう少し頑張ってくれなくちゃ。あと少しで入賞だったのに9位じゃねえ」は，もちろん“ダメだし”です。

さて，大人が子どもたちと接する立場はそれぞれです。例えば教師として，例えばスポーツのコーチとして，あるいは親として，地域の一員として……。私たち大人は，接する子どもたちに対して平均して一日に何回くらい“ダメだし”をしているのでしょうか。そして，一日に何回くらい“ヨイだし”をしているのでしょうか。



中には、「ほめるようなことが中々無くて」と嘆かれる方もいます。本当にそうでしょうか？よい点は，あまり目立ちません。もしかしたら，探そうとしていないからかもしれません。「そんなことでできて当たり前」と口に出してしまうことはないでしょうか。私たちには当たり前のことでも，子どもは大変な努力をしてやっと出来るようになったのかもしれない。

まず“ヨイだし”をして子どもの努力を認め，直してほしいところは，その後に丁寧に伝える。“ダメだし”だけで終わるよりずっと子どもの成長にプラスになるはずです。

# 新しい磯部小学校の校舎のイラスト案内図です!!





# 新校舎見学のお知らせ



磯部小学校の新校舎が完成しました。子どもたちが利用し始めてから半年あまり、素晴らしい施設・設備、美しい自然の風景の中で学習や運動に取り組める子どもたちは、本当に幸せだと思います。

これまで、この新校舎建築にあたり、様々な点でご尽力いただいた地域の皆様、糸魚川市当局の皆様、誠心誠意建築工事に携わっていただいた業者の皆様、心より感謝したいと思います。また、子どもたちがこの素晴らしい環境を“当たり前”の事と思わず、ずっと感謝しながら、大切に使うよう指導を続けていきたいと思ひます。保護者の皆様、地域の皆様も、そのことをそれぞれのご家庭で、それぞれの地域でお話しくだされれば幸いです。

さて、「新校舎をぜひ見てみたい」という声も聞かれます。そこで、下記のように新校舎を見学できる機会を設けますので、地域の皆様、卒業生の皆様、里帰りされた皆様等ぜひ見学においでください。たくさんの皆様のお越しをお待ちしています。

## 期 日

平成25年8月10日(土)、11日(日)、12日(月)

## 時 間

午前9時から午後4時まで

## その他

- ・校舎内での飲食、喫煙などのご遠慮ください。
- ・体育館は改修のため見学できない見込みです。
- ・玄関は自動的に施錠される仕組みです。ご来校されましたら、職員玄関脇のインターホンを使って教務室に一声おかけください。
- ・磯部小学校の校門から入った駐車場をご利用ください。
- ・これまでの磯部小学校のアルバムも展示したいと思います。ただし、校外への持ち出しや複写・コピーはご容赦ください。
- ・前ページの物は、新校舎のイラスト案内図です。当日見学に来られた皆様に差し上げる予定です。



## 6月の磯部小学校



四・五年生は、総合の学習で城ヶ峰に登りました。長崎勘二さんと長崎正志さんに案内していただきました。

六年生は、家庭科で洗濯の実習を行いました。家で仕事(手伝い)に生かせることでしょう。



## 校長室から

# 「徹底」したいこと



一学期の学校の様子を職員間で話し合い、子どもたちにきちんと徹底させたいことについて話し合いました。話し合った内容は、大人から見ればごく当たり前の基本的なもの、具体的な細かな内容のものも多いのですが、指導を継続し徹底しなければ、子どもたちには身に付きにくいものでもあります。

学校でも職員が一致した指導を行っていきますが、ぜひご家庭や地域でも心がけていただければ幸いです。



### 教室をきれいに使う

例えば、自分が出した消しゴムのかすを教室の床に落とすことはどうでしょうか。自分の部屋なら床に落としたりはしないはずです。

自分のものだけでなく、そうじをしたりゴミを拾ったりしてきれいにしたり整理整頓をいつもこころがけたりするなど、公共の場所や物を自分の部屋や物よりも大切に使う心を育てたいと思います。

### 時間を守る

時間に遅れるということは、必ず誰かを待たせてしまうこととなります。時間を守ろうとする心は、待っている相手を思いやる心でもあります。



学校では、2年生以上の子どもたちは、次の時間の用意をして遊びに行く約束になっています。それは、時間に遅れないための心がけでもあります。ぜひご家庭でも次の日の学校の用意をしてから休むように心がけさせてください。

### 相手を“さん”づけで呼ぶ

男子が女子を呼ぶときだけでなく女子が男子を呼ぶときも“〇〇さん”と呼ぶことに抵抗がある大人も多いかもしれません。しかし、学校では“さん”づけで呼ぶことに統一していきたいと思います。それは、男子も女子も同じ人格として互いに尊重し合う人権感覚を育むために、相手に対する呼び方からそのことを意識づけさせていきたいからです。

### 時と場、相手にあった言葉づかいをする

ある教育学者は、大人に対して対等な言葉遣いをする(いわゆる“ため口をきく”)子どもたちが増えてから、その年代を「クレヨンしんちゃん」世代と名付けました。確かにテレビの中では大人に対しても仲間と同じ意識で話しています。でもそれはテレビの世界の話です。現実の世界では、大人には大人に対する話し方ができることはとても大切です、当然できなければならないことです。学校では言い直しなどできちんとできるよう指導していきます。ぜひ、ご家庭や地域でも気を付けていただければと思います。

